

Ⅱ. 研究成果の発表

Ⅱ. 研究成果の発表

1. 刊行物等

(1) 農林技術開発センター研究報告 第8号(平成29年3月) 750部 90p

| 部門・室名 | 執筆者氏名 | 研究課題名 |
|--------------|-------|---|
| 干拓営農 | 平山裕介 | 諫早湾干拓地における中晩生タマネギの生育の推移と日平均気温・地温との関係 |
| 農産園芸・野菜 | 前田衡ら | イチゴ品種「ゆめのか」の安定生産技術の確立 |
| 農産園芸・花き・生物工学 | 池森恵子ら | 夏秋小ギク品種「長崎 SRC1」および秋小ギク品種「長崎 AYC1」の育成 |
| 森林研究部門 | 葛島祥子ら | シイタケ菌床における栄養体構成およびカキ殻粉末の施用効果 |
| 環境研究部門 | 林田誠剛ら | 近年育成された中晩生カンキツ数品種に含まれる糖, 有機酸, アミノ酸およびフラボノイド類の組成 |
| 環境・土壌肥料 | 石井研至ら | 水稲「おてんとそだち」の被覆尿素肥料利用による全量基肥栽培 |

(2) 農林技術開発センター業務報告

| 資料名 | ページ数 | 発行日 |
|-------------------------|------|-------|
| 平成27年度長崎県農林技術開発センター業務報告 | 115 | H29.3 |

(3) 研究成果情報(部門別検討会) 平成29年2~3月

| 分類 | 情報名 | 担当部門・室名 | 担当者名 |
|---------------------------------|--|------------|-------|
| 普及に移しうる成果 | 収益性を試算できる集落営農シミュレーションツールの開発 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | 水稲普通期早生品種「なつほのか」の特性 | 作物研究室 | 中山美幸 |
| | 二条大麦「はるか二条」の施肥量 | 作物研究室 | 段口貴大 |
| | 長崎県における水稲品種「ヒノヒカリ」の栽培適地マップ | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | 長崎県における水稲高温耐性品種「にこまる」の栽培適地マップ | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | イチゴ「ゆめのか」の間欠冷蔵処理による早進化技術 | 野菜研究室 | 松本尚之 |
| | アスパラガス半促成長期どり栽培における茎枯病の総合防除体系 | 病害虫研究室 | 中村吉秀 |
| | 夏秋輪ギク品種「白涼」の8月開花作型における葉先枯れ症状軽減対策 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| | カンキツ「津之望」の高糖度果実生産のための時期別横径指標 | カンキツ研究室 | 山下次郎 |
| | 矮性ネピアグラスのサイレージ発酵品質における予乾の効果 | 畜産研究部門 | 深川 聡 |
| | 極短穂型飼料イネサイレージにおける飼料成分含量からの TDN 含量推定法 | 畜産研究部門 | 深川 聡 |
| | 搾油前のツバキ種子熱処理の違いによるツバキ油の特性 | 森林研究部門 | 田嶋幸一 |
| | 茶優良品種「さきみどり」、「ふうしゅん」に適した栽植密度 | 茶業研究室 | 池下一豊 |
| | 茶優良品種「さきみどり」、「ふうしゅん」に適した幼木せん枝開始時期 | 茶業研究室 | 池下一豊 |
| 技術指導の参考となる成果 | 新製茶ハイブリッドラインを用いたてん茶製造における製造時間と動力光熱費の削減効果 | 茶業研究室 | 寺井清宗 |
| | 酵素処理したカンキツペーストの利用方法 | 食品加工研究室 | 富永由紀子 |
| | リン酸集積圃場におけるリン酸の簡易診断法 | 土壌肥料研究室 | 石井研至 |
| | 諫早湾干拓地における春播き栽培スイートコーン品種「ゴールドラッシュ 90」 | 干拓営農 | 織田拓 |
| | 環境保全型農業に適応したエダマメの化学肥料低減技術 | 干拓営農 | 草原典夫 |
| | 諫早湾干拓地でのひまし油粕の窒素分解速度 | 干拓営農 | 芳野豊 |
| | 大規模露地圃場におけるインセクタリアープラントを活用した春作パレイシヨ寄生アブラムシ類の防除体系 | 病害虫研究室 | 植松綾子 |
| | 二条大麦「はるか二条」の播種時期の違いによる収量品質特性 | 作物研究室 | 段口貴大 |
| パレイシヨ「ながさき黄金」の秋作普通栽培における増収およびでん | 馬鈴薯研究室 | 坂本悠 | |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | | |
|-----------------|---|------------|-------|
| | 粉価向上技術 | | |
| | バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における増収およびでん粉価向上技術 | 馬鈴薯研究室 | 坂本悠 |
| | 暖地二期作バレイショ栽培の秋作期間での植栽に適したインセクターリープラント | 馬鈴薯研究室 | 福吉賢三 |
| | イチゴ「ゆめのか」の株間と芽数制限による収量と収穫の平準化 | 野菜研究室 | 前田衡 |
| | 熱線吸収フィルムのイチゴ頂花房花芽分化促進および年内収量増加効果 | 野菜研究室 | 松本尚之 |
| | イチゴ「ゆめのか」の暗黒低温処理前の遮光処理の効果はない | 野菜研究室 | 松本尚之 |
| | 加工・業務用ホウレンソウの2回刈り栽培における追肥の施用量 | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| | 吊りタマネギ中の糖組成の変化 | 食品加工研究室 | 中山久之 |
| | アスパラガス栽培における炭酸カルシウム灌注施用の増収効果 | 土壌肥料研究室 | 井上勝広 |
| | 鶏ふん堆肥を利用した早生タマネギの減化学肥料栽培 | 土壌肥料研究室 | 高田晶 |
| | 鶏ふん堆肥を利用した年内どりレタスの減化学肥料栽培 | 土壌肥料研究室 | 高田晶 |
| | 黄色土における土壌中の可給態リン酸含量に基づくレタスのリン酸減肥技術 | 土壌肥料研究室 | 田畑士希 |
| | タマネギ新品種「マーキュリー3号」の特性 | 干拓営農 | 平山裕介 |
| | 長崎県内の主要なイチゴ産地における収穫後期に発生するアザミウマ類の種構成 | 病害虫研究室 | 植松綾子 |
| | イチゴ品種「ゆめのか」の春季における灰色かび病の発病特性 | 病害虫研究室 | 中村吉秀 |
| | 長崎県内におけるイチゴ炭疽病菌の種構成および薬剤感受性 | 病害虫研究室 | 江頭桃子 |
| | タマネギベと病越冬罹病株の判別法 | 病害虫研究室 | 江頭桃子 |
| | 黄色夏秋小ギク有望系統「長崎小ギク5号」の開花特性 | 花き・生物工学研究室 | 池森恵子 |
| | トルコギキョウ品種「レイナホワイト」の年内及び1～2月出荷作型における大苗定植技術 | 花き・生物工学研究室 | 池森恵子 |
| | 二季咲きラベンダーの有望系統「長崎 Lav1」「長崎 Lav2」 | 花き・生物工学研究室 | 諸岡淳司 |
| | ウンシュウミカン「長崎果研させぼ1号」の結果母枝特性とジベレリン(GA)散布による着果安定 | カンキツ研究室 | 早崎宏靖 |
| | 露地ピワ果実腐敗に対する袋かけ直前の果房スポット薬剤散布による防除 | カンキツ研究室 | 内川敬介 |
| | ピワ灰斑病の発病は施肥量が減ると増加する | カンキツ研究室 | 内川敬介 |
| | ピワ「なつたより」寒害被害枝の4月切返し処理による生育ステージの前進化抑制 | ピワ・落葉果樹研究室 | 松浦正 |
| | ヘスベリジンが効率的に採取できる摘果ミカンの判別方法 | ピワ・落葉果樹研究室 | 河原幹子 |
| | ヘスベリジンを効率的に採取できる摘果ミカンの採取に適した時期 | ピワ・落葉果樹研究室 | 河原幹子 |
| | 摘果ミカンを加工原料として利用するための効率的採取法 | カンキツ研究室 | 田中加奈子 |
| | 摘果ミカンを加工原料として利用するための防除体系 | カンキツ研究室 | 副島康義 |
| | 「豊水」と同時期に収穫できる自家和合性ニホンナシ「なるみ」の特徴 | ピワ・落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| | 豚の群飼肥育条件下における低タンパク質飼料給与による窒素排せつ量低減効果 | 畜産研究部門 | 高山政洋 |
| | ツバキ実の充実時期と油含有率 | 森林研究部門 | 田嶋幸一 |
| | 圧密処理したヒノキ材の圧力解放後の材厚の変化 | 森林研究部門 | 溝口哲生 |
| | 茶幼木園における樹冠下施肥の効果 | 茶業研究室 | 池下一豊 |
| 行政施策に反映すべき成果 | イノシン捕獲における従事者の課題 | 研究企画室 | 平田滋樹 |
| | ロボットトラクター利用によるロータリー耕の作業時間短縮と作業精度 | 干拓営農 | 織田拓 |
| | 発泡スチロール製パレットを利用したウンシュウミカンの輸送による果実への影響 | カンキツ研究室 | 山下次郎 |
| 研究および技術開発に有効な成果 | イチゴ「ゆめのか」の赤みと香りを強めるフリーズドライ技術 | 食品加工研究室 | 中山久之 |
| | 諫早湾干拓地における大麦の収量と排水との関係 | 干拓営農 | 平山裕介 |
| | 諫早湾干拓地で2月定植したタマネギ「甘70」の特性 | 干拓営農 | 平山裕介 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | |
|---|------------|-------|
| 諫早湾干拓地におけるタマネギ4作連作による土壌化学性の変化 | 干拓営農 | 平山裕介 |
| 西南暖地における春レタスの一斉収穫に適した栽植密度および品種の比較 | 干拓営農 | 草原典夫 |
| 諫早湾干拓地における過リン酸石灰施用による1年目の作土リン酸含有量の変化 | 干拓営農 | 芳野豊 |
| 諫早湾干拓地での年内どりレタス栽培における硝酸化成抑制材入り尿素の評価 | 干拓営農 | 芳野豊 |
| 諫早湾干拓地におけるラッカセイのセルトレイ育苗と直播の発芽率および収量 | 干拓営農 | 織田拓 |
| 諫早湾干拓地におけるハウス栽培ズッキーニの品種別のホルモン処理効果 | 干拓営農 | 織田拓 |
| スイートコーンにおける緑色発光ダイオードによる栽培期間点灯のヤガ類防除効果 | 干拓営農 | 織田拓 |
| 病虫害複合抵抗性の二倍体バレイショ育種素材の作出 | 花き・生物工学研究室 | 波部一平 |
| 土壌環境を制御したバレイショの種いも腐敗耐性検定法 | 馬鈴薯研究室 | 坂本悠 |
| バレイショの種いも腐敗耐性検定法の実用化および高精度化 | 馬鈴薯研究室 | 坂本悠 |
| バレイショ「西海 38 号」は8月高温期の植付けで「ニシユタカ」より高い収量性を示す | 馬鈴薯研究室 | 松尾祐輝 |
| バレイショ「西海 39 号」は6月中旬の収穫で「ニシユタカ」より高い収量性を示す | 馬鈴薯研究室 | 松尾祐輝 |
| 炭酸ガス濃度と光強度、温度の違いによるイチゴ「ゆめのか」の光合成速度 | 野菜研究室 | 前田衡 |
| 熱線吸収フィルムの特性 | 野菜研究室 | 松本尚之 |
| イチゴ交配母本候補系統「久留米 65 号」の生育、収量、果実品質特性 | 野菜研究室 | 野田和也 |
| 半促成長期どりアスパラガスの有望系統の特性 | 野菜研究室 | 浜崎健 |
| トマトの主枝6段摘心栽培における整枝方法が収量、品質に及ぼす影響 | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| 加工・業務用ホウレンソウの2回刈り栽培におけるマルチの増収効果 | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| アスパラガスの天敵保護資材を用いたスワルスキーカブリダニ放飼の防除効果 | 病虫害研究室 | 植松綾子 |
| アスパラガスにおける夏季追加立茎栽培が褐斑病の発生に与える影響 | 病虫害研究室 | 江頭桃子 |
| イチゴ品種「ゆめのか」、「さちのか」における薬液の付着割合の差異 | 病虫害研究室 | 藤友加里 |
| イチゴ品種「ゆめのか」、「さちのか」におけるナミハダニ黄緑型の発育および増殖率の差異 | 病虫害研究室 | 藤友加里 |
| イチゴのナミハダニに対する殺ダニ剤と気門封鎖剤の混用による相乗効果 | 病虫害研究室 | 植松綾子 |
| 晩生タマネギのべと病2次伝染時期における薬剤防除体系の効果 | 病虫害研究室 | 中村吉秀 |
| 秋輪ギク 12 月開花作型の花芽分化期における EOD-heating 処理が発蕾および切り花品質に及ぼす影響 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| 秋輪ギク低温開花性系統「長崎5号」の 12 月開花作型における開花特性 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| 12 月開花作型における秋輪ギク無側枝性有望系統の選抜 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| 施設栽培の夏秋小ギクの8月需要期出荷作型における適品種の選定 | 花き・生物工学研究室 | 池森恵子 |
| 夏秋小ギク8月出荷作型の施設栽培における輸入穂と自家苗穂の開花特性 | 花き・生物工学研究室 | 池森恵子 |
| 薄紫ピンク色のスプレーカーネーション有望系統「長崎 14017」・「長崎 14008」の特性 | 花き・生物工学研究室 | 竹邊丞市 |
| ランタンキュラスのメルクロン苗を効率的に増殖させる培地組成 | 花き・生物工学研究室 | 植松統一 |
| 新たに登録されるカンキツ「興津 60 号」の果実特性 | カンキツ研究室 | 園田真一郎 |
| ウンシュウミカン産地における家庭選果に関する生産者アンケート | 研究企画部門研究企 | 土井謙児 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| 調査結果(速報) | 画室 | |
|---|------------|-------|
| カンキツかいよう病防除における効果的な炭酸カルシウム剤の加用方法 | カンキツ研究室 | 内川敬介 |
| カブリダニ類の発生種・発生活長から見たウンシユウミカン園に植栽するインセクタリアープラントとして有力な候補植物 | カンキツ研究室 | 副島康義 |
| ピワ S-RNase 遺伝子特異的プライマーの設計と第 6 回系適系統の Sハプロタイプ推定 | ピワ・落葉果樹研究室 | 石本慶一郎 |
| ピワ「なつたより」に発生した‘渋み果’の特徴 | ピワ・落葉果樹研究室 | 河原幹子 |
| モモ「オキナワ」台「日川白鳳」のDVRモデルを用いた自発休眠覚醒期および開花期の推定 | ピワ・落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| 加温開始時におけるDVI値の違いがハウスモモ「日川白鳳」の開花時期に及ぼす影響 | ピワ・落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| 米ぬか由来抗酸化資材の給与は鶏卵の栄養強化および過酸化脂質の軽減に有効である | 畜産研究部門 | 高木英恵 |
| ヒノキ 3 号苗によるコンテナ苗生産に向けた施肥管理および植替え配列別の成長特性 | 森林研究部門 | 深堀惇太郎 |
| 菌床シイタケ培地へのカキ殻粉末添加が子実体発生傾向におよぼす影響 | 森林研究部門 | 葛島祥子 |
| 県内の主な造林樹種(スギ、ヒノキ、クスギ)の初期含水率 | 森林研究部門 | 溝口哲生 |
| トウゲシバの収穫と再生 | 森林研究部門 | 田嶋幸一 |
| 新製茶ハイブリッドラインを用いた緑茶製造における製造時間と動力光熱費の削減効果 | 茶業研究室 | 寺井清宗 |
| 茶越冬葉中の全糖含有量と生葉収量および Brix 値との関係 | 茶業研究室 | 藤井信哉 |

(4)センターニュース

| 資 料 名 | 号 数 | 発行年月 | 発行部数 |
|-------------------|-------|--------|------|
| 長崎県農林技術開発センターニュース | No.22 | H28.7 | 1800 |
| | No.23 | H28.11 | 1800 |
| | No.24 | H29.3 | 1800 |

(5)主要な試験成績書(平成 28 年度に印刷・発行した成績書)

| 部門・室名 | 成績書名 | 版型・頁数 | 発行部数 |
|--------------------|-----------------------------------|--------|----------------|
| 農産園芸研究部門 作物研究室 | 平成 28 年度水稲関係除草剤試験成績書 | A4・77 | 100 |
| 農産園芸研究部門 野菜研究室 | 平成 27 年度野菜試験成績書 | CD-R | 50 |
| 農産園芸研究部門 馬鈴薯研究室 | 平成 28 年度 馬鈴薯試験成績書 | A4、校正中 | 外部への配布 予定なし |
| 環境研究部門 土壌肥料研究室 | 平成 28 年度土壌肥料に関する成績書 | A4 60 | 20 |
| 果樹・茶研究部門 茶業研究室 | 平成 28 年度試験成績書 | A4 48 | 80 |
| 果樹・茶研究部門 茶業研究室 | 新製茶ハイブリッドラインを利用したてん茶の摘採・製造技術マニュアル | A4 4 | 500 |

(6)九州沖縄農業研究成果情報 第 29 号(平成 29 年 1 月 九州沖縄農業試験研究推進会議)

| 分 類 | 成 果 情 報 名 | 担当者名 |
|--------|---|----------------|
| 研究成果情報 | 長崎県型高設栽培におけるイチゴ「ゆめのか」の適正株間と収量 | 前田 衡 |
| 研究成果情報 | 大玉で多収の病虫害に強いバレイショ新品種候補系統「西海 40 号」 | 坂本 悠 |
| 普及成果情報 | 10 月中旬から出荷可能な良食味ウンシユウミカン新品種「長崎果研原口 1 号」 | 早崎宏靖他 |
| 普及成果情報 | 土蔵貯蔵庫内の環境制御により普通ウンシユウを長期貯蔵できる冷温定湿貯蔵システム | 早崎宏靖他 |
| 研究成果情報 | ホルスタイン種経産牛におけるダブルシンク法の排卵誘起時期 | 井上哲郎、永井晴治、山崎邦隆 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | |
|--------|--|----------------|
| 研究成果情報 | 生体インピーダンス法により肥育牛の胸最長筋粗脂肪含量およびBMS No.が推定できる | 橋元大介、早田 剛、永井晴治 |
|--------|--|----------------|

(7)ながさき普及技術情報 第35号(平成29年1月 長崎県農林部農産園芸課)

| 分類 | 情報名 | 担当部門・室名 | 担当者名 |
|-------------------------|--|------------|----------------------|
| 普及に移しうる成果 | ・イノシシ等の電気による止め刺し機材の開発 | 研究企画室 | 平田滋樹 |
| | ・硬質小麦「長崎 W2号」の収量・品質に及ぼす穂肥および実肥の効果 | 作物研究室 | 下山伸幸 |
| | ・多収で、大きいもの青果向け複合病害抵抗性バレイショ新品種候補系統「西海40号」 | 馬鈴薯研究室 | 森一幸 |
| | ・ジャガイモ疫病初発時期予測システム(FLABS)長崎モデルにより効率的な予防散布の開始時期が決定できる | 病害虫研究室 | 難波信行 |
| | ・長崎県型高設栽培におけるイチゴ「ゆめのか」の栽植密度と収量性 | 野菜研究室 | 前田 衡 |
| | ・10月下旬開花の黄色秋小ギク有望系統「長崎AYC1」 | 花き・生物工学研究室 | 竹邊丞市 |
| | ・新製茶ハイブリッドライン緑茶製造における製造時間と製造コストの削減効果 | 茶業研究室 | 太田久 |
| | ・普通ウンシュウを長期貯蔵できる冷温定湿貯蔵システムの開発 | カンキツ研究室 | 荒牧貞幸 藤山正史 早崎宏靖 |
| | ・普通ウンシュウを長期冷温定湿貯蔵するためのジ・ペレリン・ジャスモート液剤処理 | カンキツ研究室 | 荒牧貞幸 藤山正史 早崎宏靖 |
| | ・膈内留置型黄体ホルモン製剤を利用した黒毛和種繁殖牛採卵プログラムの簡易化技術 | 大家畜研究室 | 山崎邦隆 |
| | ・モア・ロールバーラ体系で調製した矮性ネピアグラスサイレージの発酵品質と選好性 | 大家畜研究室 | 深川 聡 |
| | ・矮性ネピアグラスの地上茎の冬季移植による省力的な草地造成法 | 大家畜研究室 | 深川 聡 |
| | ・ロータリ部分耕によるバヒアグラス草地へのイタリアンライグラス追播技術 | 大家畜研究室 | 深川 聡 |
| | ・極短穂型飼料イネ「たちあやか」の収量性および飼料特性 | 大家畜研究室 | 深川 聡 |
| | ・指標植物によるツバキ実収穫適期の判定 | 森林研究部門 | 黒岩康博 |
| ・ラベンダー精油を使った香り添加ツバキ油の製法 | 森林研究部門 | 田嶋幸一 | |
| 技術指導の参考となる成果 | ・イノシシの捕り逃がしを防ぐための箱わなの仕掛け | 研究企画室 | 平田滋樹 |
| | ・イノシシ等の捕獲作業における従事者の負担 | 研究企画室 | 平田滋樹 |
| | ・家族労働力を主体とした加工・業務用タマネギ生産の経営試算 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | ・家族労働力を主体とした加工・業務用ホウレンソウ生産の経営試算 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | ・剥皮・カットしたピロ果实の外観・食味を保持できる期間 | 食品加工研究室 | 富永由紀子 |
| | ・農産物の有する糖および脂質の吸収抑制能を迅速かつ簡易に評価する手法 | 食品加工研究室 | 中山久之 |
| | ・諫早湾干拓地バレイショ圃場におけるヒメイワダレンソウのアブラバチ類温存効果 | 病害虫研究室 | 植松綾子 |
| | ・諫早湾干拓地の春作バレイショ栽培における有望品種・系統の収量性 | 干拓営農研究部門 | 松尾憲一 |
| | ・諫早湾干拓地の秋作バレイショ栽培における有望品種・系統の収量性 | 干拓営農研究部門 | 松尾憲一 |
| | ・諫早湾干拓地における加工用ホウレンソウの最適株間 | 干拓営農研究部門 | 松尾憲一 |
| | ・諫早湾干拓地での5月移植スイートコーン栽培における過リン酸石灰の施用効果 | 干拓営農研究部門 | 芳野豊 |
| | ・諫早湾干拓地の施設土壌におけるソルガム栽培及びかん水のみによる除塩効果 | 干拓営農研究部門 | 平山裕介 |
| | ・諫早湾干拓地における加工業務用タマネギの目標収量を確保する6条植の栽培技術 | 干拓営農研究部門 | 平山裕介 |
| | ・諫早湾干拓地の加工業務用タマネギの目標収量を確保できる「も | 干拓営農研究部門 | 平山裕介 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | |
|---|------------|----------------------|
| みじ3号」の定植期間 | | |
| ・諫早湾干拓地における無加温ハウス育苗を活用したタマネギの2月定植技術 | 干拓営農研究部門 | 平山裕介 |
| ・諫早湾干拓地の加工業務用タマネギの栽培におけるかん水の効果 | 干拓営農研究部門 | 平山裕介 |
| ・水稻普通期早生有望品種「なつほのか」の特性 | 作物研究室 | 古賀潤弥 |
| ・中粗粒グライ土における籾殻牛ふん堆肥の長期連用と水稻の収量性、成分含量 | 土壌肥料研究室 | 石井研至 |
| ・水稻「おてんとそだち」の全量基肥施肥に適した緩効性肥料 | 土壌肥料研究室 | 石井研至 |
| ・硬質小麦「長崎W2号」の極早播における生育・収量・品質 | 作物研究室 | 下山伸幸 |
| ・早期水稻品種「つや姫」における玄米タンパク値と穂肥幼穂形成期(1回目穂肥施用時期)の草型 | 作物研究室 | 大脇淳一 |
| ・バレイショ「ニシユタカ」の秋作抑制栽培における増収効果が高い種いも貯蔵温度 | 馬鈴薯研究室 | 松尾祐輝 |
| ・バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定のための種いもの切断面乾燥および切断後の貯蔵温度 | 馬鈴薯研究室 | 坂本悠 |
| ・バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定のための植付け後の灌水 | 馬鈴薯研究室 | 坂本悠 |
| ・ジャガイモそうか病に対する各種薬剤の種いも浸漬処理による伝染防止効果 | 馬鈴薯研究室 | 永尾亜珠沙 |
| ・畝立て陽熱消毒前の施肥は有機栽培バレイショの初期生育を促す | 馬鈴薯研究室 | 茶谷正孝 |
| ・畝立て陽熱消毒はジャガイモそうか病菌の死滅に有効な地温を確保できる | 馬鈴薯研究室 | 永尾亜珠沙 |
| ・収穫後の土壌pH(KCl)測定による次作のジャガイモそうか病発病リスクの推定 | 土壌肥料研究室 | 清水マスヨ |
| ・イチゴ「ゆめのか」の地床栽培における基肥施肥量 | 野菜研究室 | 前田衡 |
| ・イチゴ「ゆめのか」の地床栽培における基肥の分施による収量性 | 野菜研究室 | 前田衡 |
| ・イチゴ「ゆめのか」における間欠冷蔵処理の開始時期と処理方法 | 野菜研究室 | 前田衡 |
| ・イチゴ「ゆめのか」における電照開始時期の違いと生育相 | 野菜研究室 | 野田和也 |
| ・イチゴ「ゆめのか」の親株冷蔵による採苗作業促進方法 | 野菜研究室 | 野田和也 |
| ・促成イチゴのアザミウマ類に対する天敵資材「アカメガシワクダアザミウマ」の放飼時期と防除効果 | 病虫害研究室 | 陣野泰明 |
| ・春先のイチゴ「ゆめのか」の有する香り、色および機能性 | 食品加工研究室 | 中山久之 |
| ・半促成長期どりアスパラガスにおける夏季追加立茎とBA液剤の複合処理の増収効果 | 野菜研究室 | 陣野信博 |
| ・トマトのスライス用途向け優良品種選定 | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| ・夏秋輪ギク育成品種「白涼」の8月開花作型における葉先枯れ症状対策 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| ・萎凋細菌病抵抗性スプレーカーネーション有望系統「長崎12-3」の育成 | 花き・生物工学研究室 | 植松紘一 |
| ・一番茶のみ摘採する園における適正な整せん枝技術 | 茶業研究室 | 池下一豊 |
| ・新製茶ハイブリッドライン緑茶製造に適する秋冬番茶の品種 | 茶業研究室 | 太田久 |
| ・10月中旬に成熟する良食味の早生ウンシュウミカン新系統 | カンキツ研究室 | 早崎宏靖 古川忠 他5名 |
| ・中生ウンシュウ「石地」はヒリュウ台を利用することで高品質安定生産ができる | カンキツ研究室 | 田中加奈子 荒牧貞幸 他2名 |
| ・移植した幼木を中間台に利用したカンキツ研究室「みはや」の早期樹冠拡大技術 | カンキツ研究室 | 古川忠 |
| ・ヒリュウ台の利用による高糖度カンキツ研究室「せとか」の生産技術 | カンキツ研究室 | 古川忠 |
| ・カンキツ「紅まどか」の大果生産のための果実横径の目安値 | カンキツ研究室 | 古川忠 |
| ・果実袋被覆によるユズ虎斑症状の発症抑制 | カンキツ研究室 | 内川敬介 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | | |
|--------------|--|------------|------------------------|
| | ・香酸カンキツ「ゆうこう」は摘果をしなくても安定生産ができる省力品種である | カンキツ研究室 | 早崎宏靖 |
| | ・露地栽培可能な早熟性ビワ新系統「長崎 21 号」 | ビワ・落葉果樹研究室 | 橋口浩子 石本慶一郎 谷本恵美子 |
| | ・ビワ「なつたより」の開花盛期、収穫盛期の予測法 | ビワ・落葉果樹研究室 | 山下次郎 |
| | ・ビワ施設栽培での循環扇使用による障害果軽減 | ビワ・落葉果樹研究室 | 山下次郎 松浦正 |
| | ・ビワ「なつたより」収穫時の結果枝向きと果実糖度 | ビワ・落葉果樹研究室 | 松浦正 |
| | ・露地ビワ果実腐敗に対する開花期薬剤防除の必要性 | ビワ・落葉果樹研究室 | 内川敬介 |
| | ・オハツモモ台「日川白鳳」の自発休眠覚醒期及び満開期予測システムの開発 | ビワ・落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| | ・ハウスモモ「日川白鳳」の成熟期予測システムの開発 | ビワ・落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| | ・乳牛における極短穂型 WCS 用飼料稲品種「たちあやか」給与特性 | 大家畜研究室 | 永井晴治 |
| | ・配合飼料の乾物 15%をコーンコブ主体廃菌床サイレージに代替する乳用種去勢肥育 | 大家畜研究室 | 早田 剛 |
| 行政施策に反映すべき成果 | ・パレイショ栽培におけるイネ科緑肥の地下水への硝酸態窒素負荷低減効果 | 土壌肥料研究室 | 清水マスヨ |
| | ・レタス栽培における土壌の種類とイネ科緑肥の地下水への硝酸態窒素負荷低減効果 | 土壌肥料研究室 | 清水マスヨ |
| | ・アシストスーツ着用による運搬作業における軽労化評価 | ビワ・落葉果樹研究室 | 山下次郎 |
| | ・異なる木質系燃料の焼却残渣量 | 森林研究部門 | 溝口哲生 |

(8)試験研究成果地区別報告会

| 部門・室名 | 発表者名 | 発表課題 | 人数 | 場所 | 主催 | 年月日 |
|--------------------|----------------------|--|-----|----------|--------------------|-----------|
| 干拓営農研究部門 | 織田 拓 平山 裕介 | 干拓営農部門の研究成果について | 15 | 諫早市 | 諫早湾干拓環境保全型農業推進協議会 | H29.3.21 |
| 農産園芸研究部門 野菜研究室 | 船場貢 野田和也 前田衡 | イチゴ試験研究の成果 | 27 | 壱岐市 | 農林技術開発センター | H29.2.10 |
| | 前田衡 | 「ゆめのか」試験研究成果報告 | 80 | 諫早市 | JA ながさき県央いちご部会南部支部 | H28.7.8 |
| | 前田衡 | 「ゆめのか」試験研究成果報告 | 200 | 雲仙市 | JA 島原雲仙なんこういちご部会 | H28.11.25 |
| | 前田衡 | 「ゆめのか」試験研究成果報告 | 50 | 佐々町 | JA ながさき西海いちご部会 | H28.8.26 |
| 農産園芸研究部門 馬鈴薯研究室 | 菅 康弘 | パレイショの疫病等病虫害対策について | 20 | 雲仙市 | JA 島原雲仙加津佐支部 | H28.8.2 |
| | 福吉賢三 坂本 悠 | パレイショ「さんじゅう丸」等品種の特性およびジャガイモシストセンチュウ対策について | 30 | 雲仙市 | 島原振興局 | H29.11.22 |
| 森林研究部門 | 田嶋幸一 古村善則 葛島祥子 | アベマキによる原木シイタケの栽培技術 原木シイタケ品質向上・発生量増加のための被覆技術の開発 シイタケの害菌について | 41 | 対馬市 | 農林技術開発センター | H28.11.28 |
| 環境研究部門 土壌肥料研究 | 井上勝広 | トマトの多本仕立て栽培における肥培管理 | 10 | 西部基幹センター | JA 島原雲仙ミニトマト部会 | 2016/12/8 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | | | | | |
|-------------------|------------------------------|--|-----|--------------|--------------------|----------|
| 室 | 井上勝広 | アスパラガスの土壌診断と土壌改良 | 100 | 加津佐町 希望の里 | JA 島原雲仙アスパラガス部会 | 2017/2/7 |
| 果樹・茶研究部門 | 藤山正史 早崎宏靖 | ・びわ新品種「なつたより」等の食味・鮮度保持技術の開発(戦略プロジェクト研究)について ・ウンシュウミカン新品種「長崎果研させぼ1号」について | 41 | 時津町 | 長崎県果樹技術者協議会長崎ブロック | H28.5.20 |
| | 早崎宏靖 橋口浩子 松本紀子 | ・「ながさき果研させぼ1号」について ・露地栽培が可能な早熟性ビワ新系統「長崎21号」 ・ハウスモモの生育予測システムの開発 | 90 | 諫早市 | 長崎県果樹技術者協議会 | H28.6.3 |
| | 松浦正 橋口浩子 | ・ビワ「なつたより」をつくりこなす栽培技術 ・露地栽培可能な早熟性ビワ新系統「長崎21号」 | 88 | 長崎市 | 農林技術開発センター | H28.9.5 |
| 果樹・茶研究部門 茶業研究室 | 池下 一豊 | 一番茶のみ摘採する園における適正な整せん枝技術 劇的な茶少量農薬散布技術と天敵類が融合した新たな IPM の創出 | 16 | 波佐見町 | 波佐見町茶生産組合 | H28.4.7 |
| | 池下一豊 | 茶新品種の生育特性について | 70 | 東彼杵町 | 長崎県央農協茶部会東彼杵支部 | H29.2.19 |
| | 池下一豊 藤井信哉 寺井清宗 | 茶優良品種「さきみどり」、「ふうしゅん」に適した栽培方法 茶少量農薬散布技術の研究(第2報) 緑茶三番茶葉と未熟ミカンを活用した新たな機能性発酵茶 越冬葉中養分を指標とした、樹勢状況の把握技術の開発 新製茶ハイブリッドラインによるてん茶、および緑茶の生産技術の実証 | 27 | 東彼杵町 | 農林技術開発センター | H29.3.22 |
| | 池下一豊 | 茶優良品種「さきみどり」、「ふうしゅん」に適した栽培方法 | 17 | 佐世保市 | ながさき西海農協茶部会世知原地区部会 | H29.3.23 |
| 畜産研究部門 大家畜研究室 | 山崎邦隆 | 簡易な採卵プログラムについて | 20名 | 島原市 | 長崎県授精卵移植研究会 | H28.4.27 |
| | 山崎邦隆 | 採卵と飼料計算について | 15名 | 雲仙市 | 南高授精卵移植研究会 | H28.6.24 |
| | 岩永安史 本多昭幸 北島 優 大浦昭寛 | ・肉用牛肥育技術について ・草地の矮性ネピアグラス栽培および造成法 | 33名 | 島原市 | JA 島原雲仙大雲仙和牛部会 | H28.9.27 |
| | 大浦昭寛 | 矮性ネピアグラス栽培および造成法 | 70名 | 平戸市 | 長崎県畜産協会 | H29.2.17 |
| | 大浦昭寛 本多昭幸 | 研究成果報告会 ・矮性ピアグラスの栽培について ・肥育牛に係る最近の研究について | 67名 | 雲仙市 | 畜産研究部門 | H29.3.10 |

※人数の()は他部門と同日開催、延数

II. 研究成果の発表

2. 学会誌等発表および投稿状況

(1)原著論文

| 発表課題名及び投稿者名 | 発表誌名 | 年・月 |
|--|--|--------|
| Varietal assessment of threshold air temperatures for cold damage in loquat fruit (Toshihiko Sugiura, Naofumi Hiehata, Emiko Tanimoto, Yasunori Tsutaki, Takashi Toyoshima, Kazuhide Nakamura, Daisuke Sakamoto and Shohei Konno) | The Horticulture Journal、85(2)、122-127 | H28.4 |
| Evaluating the Reduced Hydrophobic Taste Sensor Response of Dipeptides by Theasinensin A by Using NMR and Quantum Mechanical Analyses (Jian Guo, Naoto Hirasaki, Yuji Miyata, Kazunari Tanaka, Takashi Tanaka, Xiao Wu, Yusuke Tahara, Kiyoshi Toko, and Toshiro Matsui) | PLOS ONE, 11(6), e015, 7315 | H28.5 |
| A high-density genetic linkage map of bronze loquat based on SSR and RAPD markers(Shinji Fukuda(Saga University)・Keiichiro Ishimoto・Shunsei Sato(Kazusa DNA Research Institute)・Shingo Terakami(NARO)・Naofumi Hiehata(Ken'ou Development Bureau,Nagasaki Prefectural Government)) | Tree Genetics & Genomes12,80 | H28.6 |
| 種間交雑によって得られたビワがんしゅ病(Aグループ菌)抵抗性遺伝子座に連鎖するSSRマーカーのビワ育種における有用性(石本慶一郎・福田伸二(佐賀大学)・山本俊哉(農研機構)・寺上伸吾(農研機構)・稗圃直史(長崎県中央振興局)・谷本恵美子) | 園芸学研究、第15巻(3)、233-240 | H28.7 |
| Fermentation Quality of Round-bale Silage as Affected by Additives and Ensiled Seasons in Dwarf Napiergrass(<i>Pennisetum purpureum</i> Schumach) (深川 聡・石井康之*・服部育男*) (乳酸菌の添加およびサイレージ調製時期が矮性ネピアグラス(<i>Pennisetum purpureum</i> Schumach)のロールバールサイレージ発酵品質に及ぼす影響) | Agronomy, 2016, 6(4), 48, (10 pages) | H28.10 |
| ビワ葉と緑茶三番茶葉を混合揉捻して製造した発酵茶摂取による食後血糖上昇抑制作用(田中一成、湯浅正洋、山本咲暁子、大曲勝久、宮田裕次、玉屋圭、田中隆) | 薬理と治療、44(11)、1613-1619 | H28.11 |
| 果樹類白紋羽病に対する温水治療技術のビワへの応用(内川敬介) | 土壤伝染病談話会レポート 第28号 49-56 | H28.11 |
| ジャガイモにおける青枯病抵抗性 <i>in vitro</i> 検定法を利用した青枯病菌 phyloptype I および IV の温度による発病特性(波部一平) | 九州病害虫研究会報 62:20-26 | H28.12 |
| 非侵襲的生体インピーダンス法による肉牛の脂肪交雑値推定(橋元大介・福田 修・早田 剛) | 計測自動制御学会論文集 53 巻 1号、48-55 | H29.1 |
| ツバキ葉と緑茶三番茶葉を混合揉捻した発酵茶の透析患者における血中中性脂肪濃度低下作用と作用メカニズム(行實崇、宮田裕次、田中隆、田中一成) | 薬理と治療、45(2)235-242 | H29.2 |
| Round-bale Silage harvesting and processing effects on dry matter yield, overwintering ability ,fermentation quality, and palatability of dwarf Napiergrass(<i>Pennisetum purpureum</i> Schumach) (深川 聡・片岡研一・石井康之*) (ロールバールサイレージ収穫・調製方法の違いが矮性ネピアグラス(<i>Pennisetum purpureum</i> Schumach)の乾物収量、発酵品質および選考性に及ぼす影響) | Agronomy, 2017, 7(1), 10, (7 pages) | H29.2 |

*は他機関の研究者を示す。

(2)論文投稿

| 投稿者名 | 発表課題名 | 発表誌名 | 年・月 |
|------|--|--------------|-------|
| 坂本 悠 | バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定技術 第1報:種いも貯蔵条件による休眠明け促進対策 | 日本作物学会九州支部会報 | H28.4 |
| 坂本 悠 | バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定技術 第2報:種いもの切断面の乾燥処理による腐敗軽減対策 | 日本作物学会九州支部会報 | H28.4 |

II. 研究成果の発表

| | | | |
|---|--|----------------------|--------|
| 坂本 悠 | バレイショ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における出芽安定技術 第3報:植付け後の灌水による種いも腐敗軽減対策 | 日本作物学会九州支部会報 | H28.4 |
| 波部一平ら | <i>In vitro</i> 検定法による本邦産ジャガイモ青枯病菌のジャガイモに対する病原性 | 日本植物病理学会報第82巻第3号、285 | H28.8 |
| 石本慶一郎・福田伸二(佐賀大学)・橋口浩子・稗圃直史(長崎県央振興局)・谷本恵美子 | ピワ自家不和合性遺伝子(S-Rnase 遺伝子)特異的プライマーの開発 | 園芸学研究、第15巻(別2)、317 | H28.9 |
| 福吉賢三 | ジャガイモ塊茎えそ病の有効な防除対策技術の検討 | 九州病害虫研究会報 | H28.11 |
| 難波信行・小川哲治・渡邊亘 | 長崎県におけるジャガイモ疫病初発時期予測システム長崎モデルの防除への利用 | 九州病害虫研究会報、第62巻、136 | H28.11 |
| 江頭桃子・寺本健・森三紗 | 長崎県内のイチゴ炭疽病菌の系統解析および薬剤の少量処理による薬効評価法の検討 | 九州病害虫研究会報、第62巻、139 | H28.11 |
| 植松綾子・陣野泰明・寺本健 | 諫早湾干拓地における野菜類主要害虫の減農薬防除技術の開発 11) 春作ジャガイモ寄生アブラムシ類に対するインセクタリアープラントの有効性 | 九州病害虫研究会報、第62巻、145 | H28.11 |
| 内川 敬介ら | 果実袋被覆によるユズ虎斑症状の発症抑制効果 | 九州病害虫研究会報第62号、141 | H28.11 |
| 古賀 敬一、内川 敬介、中村仁 | 温水点滴処理によるハウスビワの白紋羽病罹病樹に対する治療効果 | 日本植物病理学会報第82(1)号、79 | H29.2 |
| 波部一平ら | SolCAP 12K potato array を用いたバレイショの連鎖地図作製 | 育種学研究第19巻別冊1号 | H29.3 |
| 溝口哲生 | 燃料に用いるスギ丸太の平積み天然乾燥 | 九州森林研究第70号 | H29.3 |
| 深堀 惇太郎 | 施肥条件がヒノキコンテナ苗の成長に及ぼす影響 | 九州森林研究第70号 | H29.3 |
| 田嶋幸一 | ヤブツバキの新梢剪定が結実に与える影響について | 九州森林研究第70号 | H29.3 |
| 本多昭幸 | シロップ廃液及び規格外バレイショサイレージを配合した低タンパク質飼料の給与が肥育豚の窒素排泄量及びアンモニア揮散量に及ぼす影響 | 日本暖地畜産学会 | H29.3 |

(3)国際学会発表

| 発表者名 | 発表 課 題 名 | 学 会 名 | 年・月・日 |
|------|---|-----------------------------|----------|
| 深川 聡 | Round-bale silage harvesting and processing effects on dry matter yield, overwintering ability, fermentation quality, and palatability of dwarf Napiergrass | 第17回アジア・大洋州畜産学会議(17th AAAP) | H28.8.23 |

(4)口頭・ポスター発表

| 発表者名 | 発表 課 題 名 | 学 会 名 | 年・月・日 |
|-------|--|------------------------------|----------|
| 平山 裕介 | 諫早湾干拓地の半促成長期どりアスバラガスにおける pH 矯正による収量の回復 | 日本土壌肥料学会 2016 佐賀大会 | H28.9.20 |
| 下山 伸幸 | 硬質小麦「長崎 W2号」の収量・品質に及ぼす穂肥および実肥の効果 | 2016 年度作物学会九州支部・九農研作物部会合同講演会 | H28.9.7 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | | |
|--------------------------|--|------------------------------|-----------------|
| 古賀 潤弥 | 長崎県の普通期栽培における水稲早生品種「なつほのか」の特性 | 2016 年度作物学会九州支部・九農研作物部会合同講演会 | H28.9.8 |
| 前田 衡 | 長崎県型高設栽培におけるイチゴ「ゆめのか」の栽植密度(株間)と収量 | 第 79 回九州農業研究発表会 | 寄稿のみ(熊本震災により中止) |
| 波部一平 | <i>in vitro</i> 青枯病抵抗性検定法を用いた青枯病抵抗性バレイシヨの探索 | 日本育種学会 第 11 回九州育種談話会 | H28.12.9 |
| 波部一平 | バレイシヨ近縁種からの環境耐性形質導入 | 筑波大学遺伝子実験センター平成 28 年度成果報告会 | H29.3.13-14 |
| 波部一平 | SolCAP 12K potato array を用いたバレイシヨの連鎖地図作製 | 日本育種学会第 131 回講演会 | H29.3.28-30 |
| 久村麻子 | 奇形花の発生が少ない夏秋輪ギク‘白涼’の育成 | 園芸学会平成 28 年度秋季大会 | H28.9.11-12 |
| 池森恵子 | 10 月下旬開花の黄色秋小ギク有望系統「長崎 AYC1」の育成 | 平成 28 年度九州沖縄農業試験研究推進会議 | 寄稿のみ(熊本震災により中止) |
| 坂本 悠 | バレイシヨ「さんじゅう丸」の秋作普通栽培における増収および品質向上技術 | 九州農業研究発表会 | H28.9.7 |
| 坂本 悠 | バレイシヨ新品種候補「ながさき黄金」の秋作普通栽培における増収及び品質向上効果 | 九州農業研究発表会 | H28.9.7 |
| 坂本 悠 | 土壌環境を制御したバレイシヨの種いも腐敗耐性検定における画像解析ソフト”ImageJ”の活用 | 日本育種学会第 130 回講演会 | H28.9.24 |
| 菅 康弘 | ジャガイモ青枯病菌の病原性と生態防除の試み | 日本植物病理学会第 28 回土壌伝染病談話会 | H28.11.8 |
| 坂本 悠 | 土壌環境を制御したバレイシヨの種いも腐敗耐性検定法 | 九州育種談話会 | H28.12.9 |
| 福吉 賢三 | 秋作バレイシヨの栽培期間の植栽に適したインセクタリープラント | 九州病害虫研究会第 93 回研究発表会 | H29.2.2 |
| 井上勝広 | バレイシヨの秋作栽培における亜リン酸の葉面散布処理の影響 | 日本土壌肥料学会佐賀大会 | H28.9.20-22 |
| 田畑土希・井上勝広・大津善雄・清水マスヨ | 可給態リン酸含量に基づいた年内どりレタスのリン酸施用量削減の影響 | 日本土壌肥料学会佐賀大会 | H28.9.20-22 |
| 江頭桃子・寺本健・中村吉秀 | 長崎県内におけるイチゴ炭疽病菌 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> 種複合体の再同定 | 九州病害虫研究会第 93 回研究発表会 | H29.2.2 |
| 中村吉秀・内川敬介・副島康義・古賀敬一・山下次郎 | 移動式大型スプリンクラーによる露地ピワ主要病害虫の省力的防除 | 九州病害虫研究会第 93 回研究発表会 | H29.2.2 |
| 植松綾子・籾友加里・陣野泰明・寺本 健 | アスパラガスにおける天敵保護資材を用いたスワルスキーカブリダニ放飼の防除効果 | 九州病害虫研究会第 93 回研究発表会 | H29.2.2 |
| 籾友加里・植松綾子・寺本 健 | イチゴ品種「ゆめのか」「さちのか」におけるナミハダニ黄緑型の発育および増殖率の差異 | 九州病害虫研究会第 93 回研究発表会 | H29.2.2 |
| 寺本 健・籾友加里 | イチゴ果実加害アザミウマ類に対する赤色ネットのハウス侵入阻害効果 | 九州病害虫研究会第 93 回研究発表会 | H29.2.2 |

II. 研究成果の発表

| | | | |
|---|--|--|--------------|
| 井上勝広 | アスパラガスの収量性に及ぼすカルシウム資材の影響 | 平成 29 年度園芸学会春季大会 | H29.3.19-20 |
| 野澤俊介・ 安藤勝彦・ ニユン ペ イ・内川敬 介・菅 康 弘・渡辺京 子 | Neopestalotiopsis 属における新種とネオタイプの提案 | 第 60 回(平成 28 年)日本菌学会 大会 | H]28.9.17 |
| 野澤俊介・ 内川敬介・ 菅 康弘・ 渡辺京子 | 長崎県で発生したビワ灰斑病菌の同定(病原追加) | 平成 28 年度日本植物病理学会 関東部会 | H]28.9.30 |
| 内川敬介 | 果樹類白紋羽病に対する温水治療技術のビワへの応用 | 第 28 回土壌伝染病談話会 | H28.11.8 |
| 早崎宏靖ら | ウンシュウミカン新品種「長崎果研原口 1 号」の特性 | 園芸学会平成 28 年度秋季大会 | H28.9.11 |
| 副島康義 | ウンシュウミカン園における炭酸カルシウム微粉末剤を利用したミカンハダニに対する土着天敵の保護 | 農食事業 28022C「土着天敵と天 敵製剤(W 天敵)を用いた果樹の 持続的ハダニ防除体系の確立」 推進会議 | H29.1.24 |
| 副島康義 | ウンシュウ園におけるインセクタリアープラント利用の試み | 日本応用動物昆虫学会 | H29.3.27 |
| 石本慶一 郎・福田伸 二(佐賀大 学)・橋口浩 子・稗圃直 史(長崎県 央振興局)・ 谷本恵美子 | ビワ自家不和合性遺伝子(S-Rnase 遺伝子)特異的プライ マーの開発 | 園芸学会平成 28 年度秋季大会 | H28.9.10 |
| 寺井清宗ら | 新製茶ハイブリッドライン緑茶製造における製造時間と製 造コストの比較 | 日本茶業学会研究発表会 | H28.10.26 |
| 藤井信哉ら | ミカン未熟果と緑茶三番茶葉を混合して製造した可溶性 ヘスペリジン含有発酵茶 | 第 26 回西日本食品産業創造展 | H28.5.18-19 |
| 藤井信哉ら | ミカン未熟果と緑茶三番茶葉を混合して製造した可溶性 ヘスペリジン含有発酵茶 | 長崎県産学官金技術交流フェア | H28.10.6 |
| 藤井信哉ら | 緑茶三番茶葉と未熟ミカンを混合揉捻した発酵茶 | アグリビジネス創出フェア 2016 | H28.12.14-16 |
| 永井晴治 | 乳牛における飼料用稲(たちあやか)給与試験 | 日本暖地畜産学会 | H28.10.22-23 |
| 二宮京平 | いもち病抵抗性イタリアンライグラスのエンバクとの 混播適性 | 日本暖地畜産学会 | H28.10.22-23 |
| 深川 聡 | 矮性ネピアグラスの地上茎の冬季移植による省力的な 草地造成法 | 日本暖地畜産学会 | H28.10.22-23 |
| 深川 聡 | 予乾処理が矮性ネピアグラスのロールバールサイレー ジ発酵品質に及ぼす影響 | 日本草地学会 | H29.3.21-22 |

(5)専門誌

| 投稿者名 | 発 表 課 題 名 | 発 表 雑 誌 名 | 年・月 |
|---------------|---|--------------------|-------|
| 波部一平・ 小川哲治 | 各種ジャガイモ疫病防除用無機銅水和剤の人工降雨処理装 置下での耐雨性評価 | 植物防疫 70(8) 525-529 | H28.8 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | | |
|-------|---|----------------------------|---------|
| 久村麻子 | 秋輪ギク「神馬」から選抜した「長崎4号」の低コスト変温管理による燃油量削減 | グリーンレポート 32(12) 14-15 | H28.12 |
| 菅 康弘 | ジャガイモ青枯病 | 技術と普及 | H28.8 |
| 坂本 悠 | インカのみぎめの孫系統「ながさき黄金」が2017年から一般栽培開始 | ポテカル | H29.2 |
| 坂本 悠 | ながさき黄金 -高カロテノイドで良食味の病虫害に強いしん品種- | いも類振興情報 | H29.1 |
| 清水正俊 | 原木シイタケ栽培技術の試験研究紹介 「原木シイタケの被覆試験」について | 長崎の林業 No.728 | H28.4 |
| 田嶋幸一 | センターだより「ツバキ油の性状特性の違い」 | 長崎の林業 No.729 | H28.5 |
| 溝口哲生 | センターだより「木質バイオマスボイラーの導入に向けて」 | 長崎の林業 No.730 | H28.6&7 |
| 岩崎充則 | センターだより「平成 28 年度の研究紹介」 | 長崎の林業 No.731 | H28.8 |
| 田嶋幸一 | センターだより「ツバキ油等の安定供給と新需要開拓のための品質特性強化技術の開発」 | 長崎の林業 No.732 | H28.9 |
| 葛島祥子 | センターだより「インターンシップ研修」 | 長崎の林業 No.733 | H28.10 |
| 古村善則 | センターだより「衛星画像を用いた森林伐採地の抽出及び位置情報データの作成について」 | 長崎の林業 No.734 | H28.11 |
| 口哲生 | センターだより「スギ丸太の天然乾燥試験」 | 長崎の林業 No.735 | H28.12 |
| 葛島祥子 | センターだより「九州森林学会大会」 | 長崎の林業 No.736 | H29.1 |
| 深堀惇太郎 | センターだより「次世代の森林づくりに向けて -接木技術の習得- | 長崎の林業 No.737 | H29.2 |
| 田嶋幸一 | センターだより「アグリビジネス創出フェア出展」 | 長崎の林業 No.738 | H29.3 |
| 井上勝広 | 国際化時代の日本のアスパラガス栽培, 第 15 章 日本におけるアスパラガスの生産, 輸入および消費の動向 | 世界と日本のアスパラガス, p214-229、養賢堂 | H28.4 |
| 井上勝広 | 国際化時代の日本のアスパラガス栽培, 第 17 章 平均単収世界一を誇る日本の暖地を中心としたアスパラガス生産と流通および販売戦略、地球温暖化への対応 | 世界と日本のアスパラガス, p244-263、養賢堂 | H28.4 |
| 井上勝広 | アスパラガスの長期どり栽培における亜リン酸の葉面散布効果 | グリーンレポート、567、p12-13、全農 | H28.9 |
| 井上勝広 | 太陽光発電によるビニルハウスの自動換気システム | 農業日誌、平成 29 年版、p76 | H28.11 |
| 田畑士希 | 土壌診断の結果に基づいたレタスのリン酸施肥 | 農業日誌、平成 29 年版、p138 | H28.11 |
| 高田 晶 | タマネギ栽培におけるキノコ廃菌床混合鶏ふん堆肥の肥効特性 | 農業日誌、平成 29 年版、p22 | H28.11 |
| 井上勝広 | アスパラガス増収のための地下部の管理 | 農耕と園芸、2016 年 12 月号、p26-29 | H28.12 |
| 中村吉秀 | 春作ジャガイモにおける無人ヘリ防除体系の実用化 | 植物防疫、71(2)、p1-4 | H29.2 |
| 内川 敬介 | 難防除病害の最新情報と現場で取れる対策 ビワ白紋羽病 | 技術と普及 第 59 巻 1 号 14-15 | H29.1 |
| 内川 敬介 | 温州みかんの腐敗果を出さないための対策 | 長崎の果樹 第 53 巻 9 号 9-12 | H28.9 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | | |
|-------|---|------------------------|----------|
| 内川 敬介 | 研究トピックス レインガンによる露地ビワの主要病害虫省力防除 | 長崎の果樹 第53巻10号1 | H28.10 |
| 早崎宏靖 | 研究トピックス 対馬在来カンキツの果実特性とヘスペリジン含量 | 長崎の果樹 第53巻第11号1 | H28.11 |
| 早崎宏靖 | 「長崎果研させぼ1号」の特性 | 長崎の果樹 第53巻第11号 | H28.11 |
| 早崎宏靖 | 冷風定湿貯蔵庫による普通温州の長期鮮度保持技術 | 長崎の果樹 第53巻第12号 | H28.12 |
| 山下次郎 | 研究トピックス ビワ「なつたより」のカラーチャートによる収穫適期予測法 | 長崎の果樹 第53巻第4号1 | H28.4 |
| 山下次郎 | 研究トピックス ビワ「なつたより」の低温管理による15日間の鮮度保持 | 長崎の果樹 第53巻第5号1 | H28.5 |
| 山下次郎 | 施設果樹(みかん)におけるヒートポンプの活用方法(1) | 週刊農林 第2290号 8月5日 10-11 | H28.8 |
| 山下次郎 | 施設果樹(みかん)におけるヒートポンプの活用方法(2) | 週刊農林 第2292号 9月5日 6-7 | H28.9 |
| 田中加奈子 | 研究トピックス 早生温州のジベレリン・ジャスモメート液剤の低濃度散布による12月完熟収穫 | 長崎の果樹 第53巻第8号1 | H28.8 |
| 田中加奈子 | 今年産カンキツ小玉果を作らないための生産対策 | 長崎の果樹 第53巻第5号10-12 | H28.5 |
| 山下次郎 | 研究トピックス 無加温栽培「不知火」「津之輝」の目標階級・品質に誘導するための時期別目安値 | 長崎の果樹 第53巻第9号1 | H28.9 |
| 山下次郎 | アシストスーツによる労力低減への取り組み | 長崎の果樹 第53巻第9号 7-8 | H28.9 |
| 山下次郎 | 中晩生カンキツの晩秋季における生産対策 | 長崎の果樹 第53巻第11号 13-15 | H28.11 |
| 山下次郎 | 研究トピックス カンキツ「みはや」の幼木中間台移植による早期樹冠拡大技術 | 長崎の果樹 第54巻第1号1 | H29.1 |
| 副島康義 | 病害虫防除 柑橘類 | 長崎の果樹 第53巻第1~12号 | H28.1~12 |
| 谷本恵美子 | 知ってほしい、こんな品種(101)ビワ「シャンパン」 | 果実日本、第71巻(5)、18-19 | H28.5 |
| 橋口浩子 | 栽培技術セミナー大玉で食味がよい中生のびわ品種「なつたより」～既存品種「長崎早生」「茂木」との比較と栽培上の留意点 | グリーンレポート、563(5)、8-9 | H28.5 |
| 山下次郎 | 研究トピックス④ビワ「なつたより」のカラーチャートによる収穫適期予測法 | 長崎の果樹、第53巻(4)、1 | H28.4 |
| 山下次郎 | 研究トピックス⑤低温管理によるビワ「なつたより」の2週間鮮度保持 | 長崎の果樹、第53巻(5)、1 | H28.5 |
| 松浦正 | 研究トピックス⑥氷温貯蔵庫を利用した房つきビワ「なつたより」の20日間の鮮度保持貯蔵法 | 長崎の果樹、第53巻(6)、1 | H28.6 |
| 松浦正 | 研究トピックス⑦ビワ「なつたより」の着房率向上のための7月誘引 | 長崎の果樹、第53巻(7)、1 | H28.7 |
| 松浦正 | ビワ「なつたより」をつくりこなす | 長崎の果樹、第53巻(4)、8-11 | H28.4 |
| 松浦正 | ビワ「なつたより」をつくりこなす(Ⅱ) | 長崎の果樹、第53巻(6)、8-11 | H28.6 |
| 松浦正 | ビワ「なつたより」をつくりこなす(Ⅲ) | 長崎の果樹、第53巻(10)、13-16 | H28.10 |

II. 研究成果の発表

| | | | |
|------|---|------------------------|--------|
| 松本紀子 | 落葉果樹の夏季管理のポイント | 長崎の果樹、第 53 巻(6)、12-16 | H28.6 |
| 松本紀子 | 研究トピックス①「豊水」と同時期に収穫できる黒星病抵抗性ニホンナシ「ほしあかり」の特性 | 長崎の果樹、第 53 巻(11)、1 | H28.11 |
| 松本紀子 | 落葉果樹の冬季管理 | 長崎の果樹、第 53 巻(12)、13-16 | H28.12 |
| 松本紀子 | ハウスモモの加温開始前の重点管理 | 長崎の果樹、第 54 巻(1)、26-28 | H29.1 |
| 松本紀子 | 研究トピックス②ハウスモモ「日川白鳳」の成熟期予測 | 長崎の果樹、第 54 巻(2)、1 | H29.2 |
| 河原幹子 | 研究トピックス③ビワ施設栽培での循環扇使用による障害果軽減 | 長崎の果樹、第 54 巻(3)、1 | H29.3 |
| 藤山正史 | みかん樹の栄養診断と土作りについて | 崎の果樹、第 54 巻(1)、23-25 | H29.1 |

3. 広報関係

(1)新聞

| 投稿者名 | 発 表 課 題 名 | 新聞社名 | 年・月・日 |
|--------|--------------------------------------|--------------|-----------|
| 富永 由紀子 | ビワの色、風味を残す加工技術 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.4.12 |
| 平田 滋樹 | イノシシ等の電気による止め刺し器材の開発 | 長崎新聞(研究所から) | H28.4.17 |
| 大脇 淳一 | 早期水稲「つや姫」の収量及び品質を向上させる施肥技術 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.4.26 |
| 寺本 健 | エタノール噴霧検定法によるイチゴ炭疽病の発生予察 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.5.10 |
| 久村 麻子 | 奇形花の発生が少ない夏秋輪ギク新品種「白涼」 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.5.24 |
| 福吉 賢三 | ジャガイモシストセンチュウに抵抗性を有するバレイショの線虫密度低減効果 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.6.14 |
| 前田 衡 | 長崎県型高設栽培におけるイチゴ「ゆめのか」の植え付け株数と収量性 | 長崎新聞(研究所から) | H28.6.19 |
| 前田 衡 | 長崎県型高設栽培におけるイチゴ「ゆめのか」の株間と収量性 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.6.28 |
| 取材 | 高品質ティーバッグ原料用茶の生産技術確立について | 日本農業新聞 | H28.7.4 |
| 平田 滋樹 | イノシシ等の捕獲作業における従事者の負担とその解決 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.7.12 |
| 太田 久 | 新製茶ハイブリッドライン緑茶製造における製造時間と製造コストの削減効果 | 長崎新聞(研究所から) | H28.7.17 |
| 早崎 宏靖 | 対馬在来カンキツの果実特性とヘスペリジン含量 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.7.26 |
| 深川 聡 | 「矮性ネピアグラス」を多年利用するための最終刈取り時期 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.8.9 |
| 坂本 悠 | そうか病に強いバレイショ「さんじゅう丸」 かん水栽培技術で出芽を揃える | 長崎新聞(研究所から) | H28.8.21 |
| 本多 昭幸 | 高エネルギー飼料または高リジン飼料の給与は肥育豚の暑熱ストレスを緩和する | 農業新聞(農業プリズム) | H28.8.23 |
| 葛島 祥子 | 菌床シイタケ栽培における配合の異なる培地でのかさ殻の添加効果 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.9.13 |
| 植松 綾子 | 諫早湾干拓地バレイショ畑で害虫の天敵の住みかとなる植物 | 長崎新聞(研究所から) | H28.9.18 |
| 下山 伸幸 | 硬質小麦「長崎 W2号」の極早播における生育・収量・品質 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.9.27 |
| 池森恵子 | 10月下旬開花の黄色秋小ギク新品種「AYC1」 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.10.11 |

Ⅱ. 研究成果の発表

| | | | |
|-------|---|--------------|-----------|
| 古村 善則 | 指標植物を利用したツバキ実の収穫適期判定マニュアルについて | 長崎新聞(研究所から) | H28.10.16 |
| 深川 聡 | 「矮性ネピアグラス」の節間伸長茎を用いた冬季移植による簡易で省力的な草地造成法 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.10.25 |
| 田畑士希 | 土壌 pH 測定によるジャガイモそうか病発病リスクの推定 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.11.8 |
| 取材 | 新製茶ハイブリッドラインを活用した高品質日本茶ティーバッグの開発に向けて | 長崎新聞 | H28.11.9 |
| 田中加奈子 | 中生ウンシュウ「石地」はヒリュウ台を利用することで高品質安定生産ができる | 農業新聞(農業プリズム) | H28.11.22 |
| 下山 伸幸 | 硬質小麦「長崎 W2 号」に適した穂肥及び実肥の施用量 | 長崎新聞(研究所から) | H28.12.4 |
| 植松 綾子 | 促成イチゴのアザミウマ類に対する新規天敵資材「アカメガシワクダアザミウマ」 | 農業新聞(農業プリズム) | H28.12.13 |
| 池森 恵子 | 10 月開花の黄色秋小ギク品種「長崎 AYC1」 | 長崎新聞(研究所から) | H29.1.15 |
| 菅 康弘 | 種いも薬剤浸漬処理によるジャガイモそうか病伝染防止効果 | 農業新聞(農業プリズム) | H29.1.24 |
| 山下次郎 | 台木「ヒリュウ」を用いたカンキツ「せとか」の高品質果実生産 | 農業新聞(農業プリズム) | H29.2.14 |
| 藤山 正史 | 普通ウンシュウミカンを長期貯蔵できる冷温定湿貯蔵システムの開発 | 長崎新聞(研究所から) | H29.2.19 |
| 山崎邦隆 | 膈内留置型黄体ホルモン製剤を利用した黒毛和種繁殖牛採卵プログラムの簡易化技術 | 農業新聞(農業プリズム) | H29.2.28 |
| 中山久之 | 春先のイチゴ「ゆめのか」の有する香り、色および機能性 | 農業新聞(農業プリズム) | H29.3.14 |
| 山下 次郎 | アシストスーツ着用による運搬作業における軽労化評価 | 長崎新聞(研究所から) | H29.3.19 |
| 土井謙児 | H28 成果情報から「水稻マップ」予定 | 農業新聞(農業プリズム) | H29.3.28 |

(2)テレビ・ラジオ

| 部門・室名 | 内 容 | 放送局名 | 年・月・日 |
|--------------|------------------------------------|-------|-----------|
| 馬鈴薯研究室 | ジャガイモ談義 — 全国第 2 位をもっと誇ろう— | FM 長崎 | H28.7.27 |
| 茶業研究室 | ビワ混合発酵茶製造について | NHK | H28.11.10 |
| 農産園芸・作物研究室 | 水稻の温暖化対策について | KTN | H28.11.30 |
| 果樹・茶・研究調整 | ミカンでの気候温暖化の問題と研究 | KTN | H28.11.30 |
| 果樹・茶・ビワ・落葉果樹 | 高温に強いビワとして高温果皮障害の少ない「はるたより」を品種育成した | KTN | H29.1.6 |

(3)その他

| 発表者名 | 発 表 課 題 名 | 掲載誌名 | 年・月 |
|------|---------------------------------------|---------------------------|-------|
| 福吉賢三 | 「ジャガイモの病害虫」 | 「病害虫・雑草の情報基地」サイト 防除ハンドブック | H28.4 |
| 森 一幸 | 高カロテノイドで良食味、複合病害虫抵抗性のパレイシヨ新品種「ながさき黄金」 | 最新農業技術・品種 2016 | H28.5 |
| 山下次郎 | ビワ「なつたより」の鮮度保持技術 | 農業日誌 | H28.5 |

II. 研究成果の発表

| | | | |
|------|-------------------------------|--------------------------------|-------|
| 内川敬介 | 果樹類白紋羽病の温水治療技術をビワへ応用するための取り組み | 生態と防除研究会ニュース レター 第10号 11-14 | H28.7 |
| 内川敬介 | ムッシュボルドーDFによるカンキツかいよう病の防除 | 農業時代 第198号 15-18 | H29.2 |

4. 品種

| 育成者名 | 区分(出願・登録) | 品目 | 品種名 | 番号 | 年・月・日 |
|--|-----------|-------|----------|--------------|----------|
| 佐藤義彦、稗 圃直史、福田 伸二、寺井理 治、富永由紀 子、根角博 久、中山久 之、石本慶一 郎、谷本恵美 子、橋口浩子 | 出願公表 | びわ | BN21号 | 題 31480 号 | H28.9.28 |
| 早崎宏靖、古 川忠、高見寿 隆、谷本恵美 子、根角博 久、林田誠 剛、園田真一 郎 | 出願公表 | 温州みかん | 長崎果研原口1号 | 第 30994 号 | H28.6.28 |